令和5年度第2回柳井市地域公共交通会議 議事録

日時 令和5年12月27日(水) 10:00~11:30

場所 柳井市役所3階大会議室

出席者

区分	組織名・団体名	氏名	備考
市長	柳井市	井原 健太郎	
一般旅客自動車運送事業者の代表及びその組織する団体の代表者	防長交通株式会社 乗合営業部長	河合 貴志	代理 乗合営業課長 藤井 崇
	柳井地区タクシー協会 会長	河村 良太郎	代理 末廣 和孝
住民又は利用者の代表者	柳井地区社会福祉協議会 会長	山近 俊爾	
	日積地区社会福祉協議会 理事	笹木 徹信	
	伊陸地区社会福祉協議会 会長	崎原 孝就	
	新庄地区社会福祉協議会 副会長	守田 達夫	
	余田地区社会福祉協議会 会長	沖永 佳則	欠席
	伊保庄地区社会福祉協議会 会長	田中 一美	
	阿月地区社会福祉協議会 委員	児玉 良弘	
	平郡東連合自治協議会 会長	鈴木 喜義	欠席
	平郡西地区社会福祉協議会 委員	磯本 貴美子	欠席
	大島地区社会福祉協議会 会長	堀内 洋	
	市民代表	瀧山 絹代	
市民代表	黒瀬 さおり		
中国運輸局山口運輸支局長又はその指名する者	中国運輸局山口運輸支局 首席運輸企画専門官	舘 昭憲	
運転者が組織する団体の代表者	私鉄中国地方労働組合防長交通支部	岡原 文隆	
道路管理者の代表者	中国地方整備局山口河川国道事務所 交通対策課長	三浦 道人	欠席
	山口県柳井土木建築事務所 維持管理課長	小野 理	
	柳井市 建設部土木課長	笠松 英明	
県警察の代表者	山口県柳井警察署 交通課長	椋木 則光	
学識経験を有する者	山口大学大学院創成科学研究科 教授	榊原 弘之	
運営上必要と認める者	西日本旅客鉄道株式会社 岩国管理駅 副駅長	山口 亮	
	平郡航路有限会社 常務取締役	切戸 泰	
	山口県 観光スポーツ文化部交通政策課長	渡邊 昭博	
	柳井市 経済部長	國田 雅之	
オブザーバー	中国運輸局山口運輸支局 首席運輸企画専門官	蔦 真	欠席
	柳井三和交通株式会社 交通部長	末廣 和孝	欠席
	柳井第一交通株式会社 所長	新宅 賢悟	
事務局	経済部次長	出相 貴裕	
	商工観光課長	酒井 正樹	
	商工観光課主査	地久里 真人	
	商工観光課主査	南 寛之	

■配布資料

	資料名
1	令和5年度第2回柳井市地域公共交通会議 次第
2	柳井市地域公共交通会議委員名簿・配席図
3	資料1 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）に係る事業評価について
4	資料2 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について
5	資料3 柳井市地域公共交通協議会への移行について
6	資料4 予約制乗合タクシーの利用状況について
7	資料5 柳井市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

■議事録

・開会

・市長あいさつ

全国的に高齢化が進む中で、地域の移動手段の確保が課題になっている。加えて、交通事業者の運転手の確保が難しい状況となっている。そうした中でも、交通事業者の皆様においては、本市における生活の移動手段を維持していただいていることに感謝申し上げたい。

本日は、予約制乗合タクシーの事業評価、計画の変更等が議題にある。特に日積地区において運行回数、利用者数が伸びている。これは、新規利用者が増えたというよりは、今まで利用されている方の利用頻度が増えていることが理由。

今回の会議も活発な議論をいただきたい。

・会長あいさつ

本日の1番目の議題は、フィーダー系統に係る計画の事業評価で、昨年10月から今年9月の1年間の実績について国に報告する義務があるもの。2番については、フィーダー計画のマイナーチェンジということで、便数や乗降場所の変更。3番の協議会の移行については、国の制度の改正に対応するというもの。4番の予約制乗合タクシーの運行状況については、1番の話をもう少し具体的に細かいデータを基に説明をいただけると聞いている。5番の網計画の進捗状況については、1年間の進捗状況をこの会議で確認するというものになっている。ご不明な点があれば、遠慮なくご質問、ご意見をいただきたい。

・事務局報告

委員数26名のうち、出席者22名、委任状提出者4名で、本会議設置要綱第6条の規定により、本会議は成立していることを報告する。

・協議事項(1) 令和5年度地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）に係る事業評価について

事務局から資料1を説明。

- ・フィーダー系統4地区いずれも年度当初の目標を達成した。

資料1の内容により国へ報告することを承認。

・協議事項(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画の変更について

事務局から資料2を説明。

- ・大畠地区からの「行き」の便、阿月地区からの「行き」の便に10時30分の便を追加。

- ・4地区全ての乗降場所にみどりが丘図書館、柳井市文化福祉会館、バタフライアリーナ、アクティブやない、サンビームやないを追加。
- ・大島地区の乗降場所に大島総合センターを追加。
- ・阿月地区の乗降場所に坪井歯科医院を追加。

A 委員

乗降場所で全地区に新たに5か所追加した理由は。

事務局

令和6年度は、学校の夏休み前にみどりが丘図書館の供用開始を予定しているため、ぜひ皆さんに利用していただきたいという思いがある。

また、周辺については、みどりが丘図書館を中心として、防災・文教・交流ゾーンという名称で一体のエリアとして位置づけているため、周辺施設についても一体のものとして乗降場所として追加してもらいたい。

各地区の皆さんにはその旨をご説明させていただいている。

バタフライアリーナにつきましても、令和6年度中に工事完了を予定しているため、新しくなったバタフライアリーナもぜひ活用していただきたい。

A 委員

みどりが丘図書館については利用すると思う。しかし文化福祉会館、バタフライアリーナ、アクティブやない、サンビームやないは主に日曜祝日に催しがある。予約制乗合タクシーは日曜祝日の運行をしていない。この4施設の需要があるのか。

事務局

買物に比べると、これらの施設は需要が見えにくいですが、このような文化施設にもアクセスしやすくすることで、皆さんに利用していただきたいという思いがある。

乗降場所の変更は比較的容易であり、今後、利用状況をみただ中で状況によっては見直していくことはできる。

資料2の内容により国へ届出を行うことを承認。

・報告事項(3)柳井市地域公共交通協議会の移行について

事務局から資料3を説明

- ・法改正により国の補助金を法定協議会で受けることとなるため、市の附属機関から法定協議会へ移行し、協議会名義の口座を作成する。
- ・法定協議会であることを分かりやすく示すため、名称を「柳井市地域公共交通協議会」へ変更する。
- ・協議会の規約等を制定し、令和5年度中に移行する予定。

会長

国、市から補助金、負担金を受け、予算を持つ協議会へと移行するが、基本的にはこれまでと同様の協議を行っていくものと理解している。

・報告事項（4）の予約制乗合タクシーの利用状況について

事務局から資料4を説明。

- ・初年度の伊陸地区、阿月地区とも順調に運行した。
- ・日積地区の利用者数が伸びている理由は、新規の利用者の増加でなく、現在利用している人の利用回数が増加していることによる。

会長

伊陸地区、阿月地区とも順調な滑り出しと思う。おそらく、地域にまだ利用されていない方がいらっしゃる。多くの方に利用いただく方が利用者数が安定してくるため、引き続き運行の改善をお願いしたい。

・報告事項（5）柳井市地域公共交通網形成計画の進捗状況について

事務局から資料5を説明。

B 委員

バスの路線で1人当たりにかかる費用と予約制乗合タクシーに代えた場合の1人当たりの費用を見ると、路線バスから予約制乗合タクシーに転換することで、市の財政支出の負担が軽くなっていると理解している。

予約制乗合タクシーの増便をしてほしいという利用者の声がとても多い。自分の利用したいときにちょうどよい便がないという利用者の話を聞く。便数を増やすと市の財政支出も増えることになるが、利用者を増やすために便数を確保したいと考えているので検討いただきたい。

会長

B委員のご指摘について悩ましいところが、バス、タクシーも運転士が不足している状況がある。運転士の待遇改善は目指すところであるが、そうすると経費も増える。危機的な状況にある中で、基本的で重要なサービスを担う方の確保を考えると、どうしても経費が増える。簡単に答えが出るものではないが、そのことも踏まえ議論する必要があると思う。

会長

柳井市地域公共交通網形成計画は来年度が最終年度となるため、来年度は、現行計画の目標値に対する実績を振り返り、次の計画の中で反映させていくこととなる。

・その他

C 委員

地域内フィーダー系統確保維持計画の変更については、国へ申請書を提出する予定か。また、新協議会への移行については年度内に議決を得る予定か。

事務局

地域内フィーダー系統確保維持計画の変更については、今回の会議の承認をもって国の方へ変更申請書を提出する予定。新協議会の設立については、この会議で議決を得るのではなく、柳井市の中で規約等を制定し設立への手続を進め、委員への参画を依頼する。

C 委員

大島うずしお号について、地域の方から感謝の声をたくさん聞く。私も利用者には運行に関する要望や気づきなどを聞くようにしている。その中で、予約制乗合タクシーの乗降場所に座るところが欲しいという声を聞く。他の地区ではそのような声はないか。

事務局

事務局にそのような意見は届いていないが、例えば商業施設には、ベンチが設置してあったりする。また、個人病院では、中の待合いで待っているという話は聞いている。

会長

確かに、冬の寒い日や雨の日は、寒さや雨がしのげるようなスペースが欲しいという話は他の地域でも聞いたことがある。施設の駐車場の取り回し等の事情もあると思うので一概に言えないが、このようなご意見が多いのであれば、考えてもいいのではないかと思う。

市長

最後に補足させていただくと、みどりが丘図書館は、令和6年7月下旬に開館を予定しているが、これまで図書館に行く手段について多くの厳しいご指摘をいただいた。将来的には予約制乗合タクシーを図書館に乗り入れる形で考えたいと申し上げてきた。そのような中で各地区で議論いただき、この度、図書館に乗り入れる運びとなった。また、文化福社会館、バタフライアリーナ、アクティブやない、サンビームやないが近隣にあるので、これらの施設を利用される方々の利便性の向上につながるものとしてご提案させていただいた。

サンビームやないに関しては、土曜日の行事もたくさんあり、日曜日だけでは収まらない現状もあるので、今後、土曜日に予約制乗合タクシーをご利用いただくケースも増えるのではないかと思う。

バタフライアリーナに関しては令和6年12月にリニューアルするため、実際の利用は令和7年1月以降になる。

図書館の乗入れについて、一般車を含め、予約制乗合タクシーや路線バスは施設の中まで乗り入れる予定としているが、図書館周辺の公園部分の工事が令和6年度末に完成予定のため、それまでは路線バスは施設内まで乗り入れることはできない。

各施設の工事のスケジュールが異なり、複雑であるため、改めてご紹介させていただいた。

また、予約制乗合タクシーの一方で、高齢者おでかけサポート事業というものがある。路線バスとタクシーと平郡航路で利用できる助成券で、住民税非課税世帯の方には年間2万4000円分、課税世帯の方には半分の1万2000円分お配りしている。こちらの利用も増えてきており、運転免許を持っていても運転しないということであればお渡ししており、とても利用しやすい制度となっているので、こちらもご紹介させていただく。

■閉会